

(一般質問の続き) 決定しました。私は、市民活用と学校給食検査の充実などに利用できないか、と質しました。

市長は「9月末か10月に配分される予定だ。研修を受ける職員が対応する、具体化を調整中」と答えました。積極的利用が期待されます。

自然エネルギーの調査を

再生可能エネルギーの固定価格買取制度が7月から実施され、普及促進が図られます。私は、入間市での利用可能なエネルギー調査をすべきと質しました。

市長は「内部で検討するが、調査はしない」と消極的でした。「原発ノー」の姿勢に立てないことが、自然エネルギー活用などに向けなくさせています。

オスプレイ配置反対を

危険な米軍機オスプレイが問題になっています。横田基地一時配置の動きに、瑞穂町など周辺の自治体が、反対の要請をしています。私は、入間市も共に反対をすべきと主張しました。

市長は、飯能・日高にも声をかけると取り組む姿勢を示しました。

安保条約10条で基地撤去

昭和38年から平成20年までの横田



事故多発の米軍機オスプレイ

基地関連飛行機事故は49件もあります。私は「金子地区に朝鮮戦争時にB29が墜落し、大きな被害を与えた。市民の安全を考え、安保条約10条で破棄の立場に立つべき」と主張しました。

市長は「安保条約破棄の考えはない」と市民の安全より国策を優先する姿勢でした。

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3,400円
日曜版●月 800円

義援金募金・ご意見、赤旗購読
申し込みは 石田よしおへ
電話Fax 2964-4048 携帯070-5086-2075
日本共産党入間市議団HPをご覧ください

原発ノーの表明こそ大事 市民生活を守る政治姿勢を

暑い夏を迎え、元気でお過ごしでしょうか。大きな変化が起きていますが、原発事故、オスプレイ配備、横田基地問題を一般質問で取り上げました。

原発と事故への対応

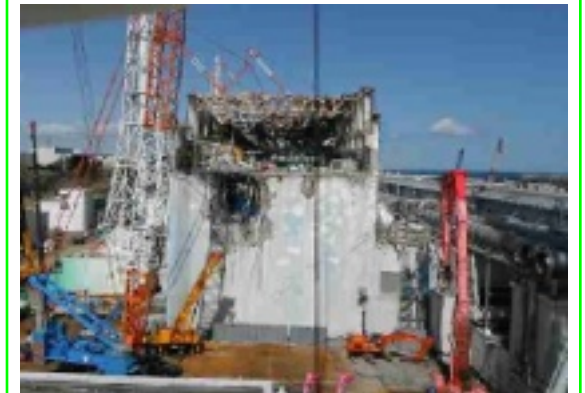
福島原発事故は、広島型原爆の168倍の放射能をばらまきました。汚染は入間市に数億円の狭山茶被害を与え、子育てにも深刻な悩みです。

修繕できない福島原発を5月のような風速100m超の竜巻が襲ったら、首都圏が再び放射能汚染される危険があります。「脱原発をめざす首長会議」が70名参加で発足しました。私は、入間市長として原発ゼロをめざすべきではないか、と質しました。

市長は「対応が甘かった、二重三重の防御の姿勢が必要。首長会議は承知しているが、参加の意思はない」と消極的姿勢でした。

家庭に重い電気料値上げ

東京電力の電気料金値上げが問題



福島第1原発事故

になっています。私は家庭向けは販売電力量の38%だが、利益の91%も負担させられており、しかも再稼動を前提とした電気料金値上げだ。今回の値上げへの見解を質しました。

市長は、本末転倒であり、賛成できないと、東電を批判しました。

検査機器の市民利用

消費者庁の放射性物質検査機器の貸与自治体として、入間市に(4面へ)

日本共産党入間市議会議員

石田よしお市議会報告

(2012年7月号) 入間市上藤沢688-8

電話・fax 2964-4048 携帯070-5086-2075

ホームページ:「日本共産党入間市議団から石田よしお」へ



「子ども医療費」の通院はおあずけ

6月定例市議会

入院はようやく中学卒業まで無料に

今議会に提出された条例改正、補正予算など14議案は、すべて可決・成立しました。

県内で最も遅れている現状

子ども医療費支給に関する条例改正では、入院分について、現在小学3年生までとなっている支給対象を、中学卒業まで拡充するものです。

県内各自治体の医療費助成の現状は、入院分で高校卒業までが2自治体。中学卒業までは、58自治体となっており、小3までと遅れているのは、入間市のみであることが明らかになりました。この現状を重く受けての条例改正になります。



入間市内で行われた平和行進にはたくさんの方が集まり、核兵器廃絶と原発反対を訴えながら行進しました。

総括質疑のなかで、「後期5カ年計画では小学3年生までとなっている」「どれだけの財政効果が見込めるのか」など、制度拡充に批判的な声もありました。市執行部からは、「近隣他市との隔たりが大きすぎるのは問題」、「制度の拡充のため」などの答弁があり、議会最終日には全会一致で成立しました。

通院も中学卒業まで無料に

日本共産党入間市議団は、子育て支援策のひとつとして、議会で繰り返し、制度の拡充を求めてきた経緯からも、今回の条例改正には賛成し、通院も中学卒業まで無料化を検討すべきと主張しました。

市民の願い実現できる市政に

6月議会で、木下市長は今年11月の任期をもって退任することを表明しました。市長は8年前に「合併しなければ財政が破綻する」「政治生命をかける」として、狭山市との合併を強引に推し進めました。しかし、市民アンケートでは合併に「反対」が「賛成」を上回り、狭山市との合併は破綻しました。

市長は合併協議に1億3000万円もの税金をつぎ込みながら、その責任を取ろう

新日本婦人の会入間支部支部長 対馬ヨシ江さんの話

私たち新日本婦人の会は、長い間運動に取り組んできました。「やっとここまでできた。運動を続けてきて良かった。願いが大きく前進した」といった思いです。「お金の心配をしないで医者さんにかかれたら。安心して子育てのできる支援を」の市民の願いは切実です。引き続き、通院についても中学卒業まで拡大されるようみなさんと力をあわせたいと考えています。



20万人の再稼働撤回の声

7月1日入間市で市役所前に100人近くの市民が集結し平和大行進が行われました。核兵器廃絶とともに、脱原発が大きなテーマとなりました。

今、全国各地で、脱原発の動きが新しいネットワークで大きく広がっています。首相官邸前の抗議行動は、当初1000人規模だったものが、6月22日に4万5000人、29日に20万人と空前の規模に膨れあがっています。

日本共産党は原発再稼働に強く反対します。みんなで怒りの声をさらに広げ、再稼働を撤回に追い込もうではありませんか。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員
原発ノー、オスプレイ、横田基地
吉沢かつら議員
介護保険制度の改善、保険料減免拡充
安道よし子議員
子ども医療費は通院も中卒まで無料に
小出わたる議員
保育の公的責任守れ、タクシー券存続

日本共産党市議会報告

2012年7月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883